

ボルグワーナー、新型EVトラックに電気モーターを供給

- 大手OEM製大型EVトラックの後継機種に採用された電動化テクノロジー
- 業界トップクラスの高効率、高出力、高トルク密度を実現したHVH250電気モーター
- 製造歴10年以上の実績

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frédéric.B.Lissalde)は、ドイツOEMが大型EVトラックにHVH250(高電圧ヘアピン)電気モーターの採用を決定したことを発表しました。

同トラックは、車軸ごとに2つのHVHモーターを搭載することを目標としています。各モーターのピーク電力が175kW、トルク密度が350ボルトで425Nmと、業界トップクラスとなる性能を発揮します。この採用により、ボルグワーナーの商用車における電動化技術のリーダーとしての地位はさらに高まることとなります。

ボルグワーナーは、10年以上にも及ぶHVH250の製造実績があります。同社の電気モーターは、ピーク時に95%以上の効率を実現し、直接駆動、チェーン駆動、ベルト駆動、または一体化設計などの形態で提供することが可能です。大きな特徴として特許取得済みのHVHステータ巻線技術を採用しています。さらに、HVH250モーターは、フルハウジングまたはロータ/ステーターアセンブリとして納入することができます。耐久性をさらに高める技術として、埋込永久磁石ロータと独自の絶縁システムを採用しています。

ボルグワーナーは、電気モーターに加え、ドライブモジュール、バッテリーパック、パワーエレクトロニクス、高電圧バッテリーとキャビンヒーター、燃料電池空気供給システムなど、電動自動車向けに幅広いテクノロジーのポートフォリオを用意しています。

ボルグワーナー・パワードライブシステムズ社長兼事業本部長のステファン・デメール博士は、「バッテリー駆動の大型EVトラック向けに当社の電動化技術を提供させていただくことは大変喜ばしいことです。実績のあるHV250モーターは求められる過酷な要件を満たすのに必要なパワーと耐久性を備えています。お客様の効率的な車両の電動化を支援することを通じ、当社はさらにクリーンでエネルギー効率の高い世界の実現に向けて前進してまいります」と述べています。



ドイツ OEM が大型 EVトラックに採用した HVH250 電気モーター

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフターマーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 23 カ国 96 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 50,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の 2020 年 12 月期の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針(Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020 年 10 月 1 日に完了したデルファイ・テクノロジー社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測可能な債務の可能性、2021 年 6 月 4 日に完了した AKASOL AG の買収による期待された利益が実現しないこと、必要な規制当局の承認が得られないこと、または提案されている取引のその他の条件が満たされないこと、提案されている取引の期待される利益の未実現、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K の第 1A 項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL: 03-6260-4854

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp